



平成13年1月 医学部附属病院 新病棟 (旧第一病棟取り壊し前)



明治2年に開院した神戸病院。手前の建物は番屋でその前の左再山(再度山)の道標は現在も残っている。



昭和33年12月 医学部本館



昭和19年4月20日 兵庫県立医学専門学校一回生入学記念

目次	ページ
平成29年度一般社団法人神緑会臨時(社員)総会並びに学術講演会プログラム	3
寄付のお願い 前田 盛、中野 康治 他	5
同窓会から社団法人への移行に伴う会費納入に関する整理	10
第12回ホームカミングデイ	11
第5回神緑会ヤングインベスティゲーターアワード発表会	13
第1回神緑会美術展を終えて 藤谷 哲造	14
2017年度大倉山祭開催報告 *杉本 愛美	15
「大倉山祭医療シンポジウム」を開催しました *伊藤恵理子	17
書籍紹介 実例でわかる「介護老人保健施設 利用の手引き」 水野 耕作	19

目次	ページ
名簿発行について 編集委員会	21
わが母校誕生のころ(4) 中村 和成	24
2017年度医学英語研修 ハワイワークショップ報告書 藤岡 一路	27
医学部附属病院長選考広報 医学部附属病院長の選考について <b>記念事業としての座談会の開催</b>	30
京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 便り 徳永 愛子 中川 千種	31
神戸大学の現状報告 講演会の開催 前田 盛	33
研究科長・医学部長 附属病院長 的崎 尚 藤澤 正人	33
編集後記	34

\*学生

THE ONLY※1

西宮北口、過去最大※2プロジェクト

# 西宮北口 次代の象徴 完成披露



□外観(平成29年3月撮影)

## 「プレミスト西宮北口ザ・レジデンス」

法人提携割引  
販売価格(税抜)から **1%割引**

初回来場時に「紹介カード」をご持参いただくことが条件となります。詳細は係員までお尋ね下さい。

阪神間主要駅へダイレクトにつながる快適アクセス。

**特急停車駅** 阪急神戸線・今津線

「西宮北口」駅へフラット徒歩 **10分**  
(約750m)

「西宮北口」駅から

阪急神戸線

阪急神戸線

「梅田」駅へ **13分** 「神戸三宮」駅へ **14分**  
(特急利用) (特急利用)

※1.※2. THE ONLY、過去最大とは民間による分譲マンションで、阪急神戸線・今津線「西宮北口」駅最寄りかつ、阪急神戸線「北側」において、総戸数・敷地面積が過去最大であることを指しています。(平成27年9月1日現在 MRC調べ)  
※徒歩分数については80mを1分として算出し、端数を切り上げたものです。※電車の所要時間は日中平常時のもので時間帯により異なります。平成28年3月の情報を基に作成しています。※現地販売センター案内図は概略図のため、省略している道路、施設等があります。また、周辺施設については平成29年3月現在のものであり変更になる場合があります。

お問い合わせ・資料請求は  
「プレミスト西宮北口ザ・レジデンス」  
現地販売センター

0120-149-921 営業時間/10:00am~6:00pm  
(火・水曜日定休※祝日は営業しております。)  
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

ダイワ 西宮北口 検索



カーナビをご利用の方は  
右記の住所を入力してください。 **西宮市丸橋町4-17**

〈事業主・売主〉

**大和ハウス工業株式会社** 本店マンション事業部

大阪市北区梅田3丁目3番5号 〒530-8241

Tel 06-6342-0991 Fax 06-6342-0907

建設業許可番号 国土交通大臣許可(特-27-28)第5279号 宅地建物取引業者免許番号 国土交通大臣(15)第245号

(一社)大阪府宅地建物取引業協会会員 / (一社)不動産協会会員 / (公社)近畿地区不動産公正取引協議会加盟

[www.daiwahouse.co.jp](http://www.daiwahouse.co.jp)



**Daiwa House**  
大和ハウスグループ

## 平成29年度 一般社団法人神緑会 臨時(社員)総会並びに学術講演会プログラム

平成30年1月20日(土) 於・神戸大学医学部附属病院外来診療棟6階大講義室

- ☆開会の挨拶 (15:00)
- ☆物故会員への黙祷
- ☆平成29年度一般社団法人神緑会臨時(社員)総会 (15:10~15:40)
1. 委員会報告等
  2. 審議事項
- ☆新任教授・栄誉者紹介 (15:40~16:30)
- 〈休憩〉
- ☆新春学術講演会 (16:40~17:50)
- I. 講演
- 『生命(いのち)輝かそう神緑会』  
~2025年後を見据えて~  
(全員参加の全人的医療を)
- 全国自治体病院協議会 会長 **邊見 公雄** (神緑会名誉会員)  
赤穂市民病院 名誉院長
- II. 講演
- 『留学での貴重な経験とアメリカ医療』  
カルフォルニア大学 アーバイン校  
外科学移植分野臨床外科 教授 **市井 啓仁** (平成7年卒)
- ☆閉会の挨拶 (17:50)
- ☆情報交換会(於:神緑会館多目的ホール) (18:15~20:00)

### 新春学術講演会 プロフィールと講演要旨

#### ■講演 I

**邊見 公雄** (へんみ きみお)



公益社団法人全国自治体病院協議会 会長  
赤穂市民病院 名誉院長

昭和43年9月 京都大学医学部卒業  
昭和45年3月 大和高田市立病院 外科医員  
昭和47年4月 京都大学医学部附属病院 第二外科医員  
昭和53年2月 赤穂市民病院 外科医長  
昭和62年4月 赤穂市民病院 病院長就任  
平成21年4月 赤穂市民病院 名誉院長就任

役 職 公益社団法人全国自治体病院協議会会長  
一般社団法人全国公私病院連盟副会長  
厚生労働省社会保障審議会医療部会委員並びに医療分科会委員  
(2005.9~2011.10中央社会保険医療協議会委員)  
文部科学省医学歯学教育モデルコアカリキュラムに関する専門研究委員会委員  
兵庫県参与  
関西広域救急医療連携計画推進委員会会長  
学校法人自治医科大学評議員  
公益財団法人日本医療機能評価機構理事(元サーバーヤー)  
地域医療福祉情報連携協議会名誉会長  
一般社団法人日本専門医機構理事  
ほか、国・県・自治体等多数の役職を兼任

## 演題「いのち 生命輝かそう神緑会」

講演要旨：今年には森鷗外以来の厚生労働省の医務総監で医系技官300名のトップの鈴木康裕医務技官の言葉では「惑星直列」の年と。つまり、改革が一度に押し寄せる大変革の年で、2035年までの社会保障政策の起点となるものが、殆ど顔出しする年と言う。今頃はもう改定率が決まっているはずだが、診療報酬と介護報酬の同時改定がある。また、第7次医療計画と第7期介護事業計画も始まる。更には、国民健康保険が都道府県へ移管、新専門医制度も始まる。地域医療構想も新公立病院改革プランに、公的医療機関等2025プランが追加され、基金の為に病院名もどんどん出てくる情勢である。改定を見定めて、自院の方向を決める所が一気に増えそうである。これらの改革の進捗状況や背景を報告したい。また、専門医制度の開始1年延期の経緯と、どこがどう変わったかを少し詳しく紹介したい。私自身は、地方創生（再生）は医療と教育と一次産業（の六次化）が十分条件ではないが、必要条件だと以前より主張している。医療の無い所に人は住めない。最後に赤穂市民病院での病院づくりや中医協における麻酔科、放射線科、病理科の評価、手術手技料大幅アップの経過も説明したい。



## ■講演Ⅱ

市井 啓 仁 (いちい ひろひと)



カリフォルニア大学 アーバイン校  
外科学外移植分野臨床外科 教授

1995年3月 神戸大学医学部卒業  
1995年6月 神戸大学附属病院第一外科研修医  
1996年6月 大阪日本赤十字病院外科研修医  
1997年12月 公立神崎総合病院外科  
1998年12月 田畑胃腸病院外科  
1999年4月 神戸大学医学部大学院大学入学  
千葉大学医学部大学院大学分化制御学 国内留学  
2002年10月 マイアミ大学 Diabetes Research Institute 留学  
2003年4月 学術振興会特別研究員  
2005年1月 マイアミ大学外科 Research Assistant Professor  
2007年7月 マイアミ大学外科 Transplant Institute, Clinical Transplant Fellow  
2010年6月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Clinical Assistant Professor  
2013年7月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Associate Professor of Clinical Surgery  
2017年7月 カリフォルニア大学アーバイン 移植外科 Professor of Clinical Surgery

## 演題「留学での貴重な経験とアメリカ医療」

講演要旨：国民に対し医療へのアクセスを保障しない世界でも稀な先進国である米国はGDPに対する医療費の割合は世界で高い最も高く、先進国の中で医療の質は最低、費用面では最大とされています。国立衛生研究所による2013年の先進国との比較研究では、米国は乳児死亡率、心肺疾患、性的感染症、未成年の妊娠、怪我、殺人被害について、最ももしくは準最多であるとされています。さらに研究では、米国は平均寿命で最低水準であるとされています。

そんな中でも、米国は、世界に類を見ない移植大国になっています。米国で臓器移植医療は、人々の日常の中に深く広く浸透しており、脳死になったら臓器提供という選択肢があることも、常識になっています。日本の臓器移植はアメリカより20年遅れているといわれています。そのため、臓器移植をもとめて、多くの日本人が渡米しています。米国では外国人への移植を全体の5%に制限しています。にもかかわらず、日本人が枠を独占してしまうため問題となっています。ヨーロッパではすでに日本人の締め出しが始まっています。オバマからトランプ時代へと激動する米国での医療制度について、こちらでの経験をふまえて講演をさせていただきます。

## 寄付のお願い

神緑会会長 前田 盛

### 1. 神戸大学医学部の発展

前任の理事長あいさつでは、その当時の神戸大学医学部の発展を肯定しつつ、「しかるに、この発展は、優秀な学生が集ってきて、その結果、現状となっている。その元となる先輩達の努力の結果である」との挨拶が常であった。私は、この挨拶を不快に思ったわけではないが、ある意味で先輩が後輩、特に若手への注文として理解し、あまり快く思わなかったことは事実でした。しかし、最近、医専からはじまる県立時代、国立移管を経て、昭和60年代後半から平成20年ごろまでの発展を考えると、そのあいさつは実に的確に神戸大学医学部の発展を表していた。

卒業後、私の恩師の元へ、ある県立医大の先生が「国立移管の是非」を尋ねにこられた時に、「返事はどうぞされたのですか」と聞くと「何も良いことがない」と返事したと聞きました。事実、もと学舎の改築は、昭和51、53年であり、昭和5年建設の病院本館の建て替えは昭和60年、昭和4年の第一病棟の建て替えは、平成13年でした。全国規模の会合に出席すると旧帝大から順に並ぶ流れの末席、新設医大の前という席次に泣かされた話ばかりでした。しかし、現状の学内や平成13年の大学院大学への移行は、旧帝大に次ぐ早さであり、阪神間であって、優

秀な学生が集まり、基礎配属はじめユニークな教育の恩恵は、武田学長をして、目標は、日本で5位、世界100位と公言する状態となっております。

### 2. 周年記念事業による医学部の充実

- 1) 同窓会神緑会は、30周年時に、同窓会館の建設と社団法人の認可を目指すことを提起した。(昭和49年)
- 2) 40周年で社団法人の認可を達成した。基本財産は、最終的に1億円を積み上げ、この時の寄付者約400名に対して、会費免除とした。この基本財産は、高金利時代には、入会金と年会費以外の安定した収入として神緑会の運営を支えた。
- 3) 50周年記念事業と神緑会館の建設(平成6年から、完成は平成13年)
- 4) 60周年記念事業と動物舎移転、基礎学舎の全面耐震改修  
本来は、平成18年が2年遅れと2年後の寄付活動
- 5) 75、150周年記念事業

国立大学を取り巻く厳しい環境で、大学と同窓会が一体となった活動の展開が望まれる。本ニュースレターでも「大学、神緑会からのよびかけ」を掲載しています。

## 寄付の呼びかけ

### 73年前の1時間

医専24年卒 S生

入学してまもなく講義が始まり、内科診断学で小川校長ご自身が漫談と称せられる原稿なしの講義が週1回くらいあり、今でも忘れられないのは「医者になる前にまず徳のある仁(ひと)であれ」と当時まだ人々の口の端に上っていたと思われる神戸チフス餓頭事件<sup>注)</sup>を話題に取り上げ被告の女医は一般人には考えられない医師の特権のようなものを悪用したことは到底許されない。また男性にも約束放棄という重大な過失を指摘、人の道を外れたこと

をしないように繰り返し仰いましたし、正路学長の講義「医道」も厳しいものでした。過日、関東地方で医師及び医学生が女性にアルコールを無理に飲ませて乱暴する事件が報じられましたが、人間ひとつ間違えば大変なことになるものです。その点開学以来、本学出身者が不祥事で新聞種になったことが一度もないのは有難いことだと感謝しています。順序が逆になりましたが喜びの方は何と言っても山中教授です。ノーベル賞学者輩出とはこの上もない榮譽、感謝、感激です。この研究が人類に大きな福音をもたらしてくれるよう成功を心からお祈りしています。先日前田会長にお会いした際お願

いしたのですが、現在92歳の私は医事新報と日経メディカルくらいしか読んでいませんが、本学が東大、京大と同ランクの文科省の重点支援3に指定されるほどの良い研究もあるのでしょうか、今一神戸大学の名をみる機会が以前よりうんと減っているように思うので先生方にはより優れた研究を通して知名度を（全国的に）upして頂きますようにと。昨今研究費のカットが多いと聞くのでその方は神緑会の方で頑張ってもらうことに。

私事で恐縮ですが、私の今日あるのは第一は強運に恵まれたこと。第二は母校のおかげ、そのご恩に報いるべく今回清水の舞台から飛び降りる気持ちで募金させて頂きました。皆さんも胸に手を当てて考えて頂いたらキット、二、三番目に母校のおかげがあると思いますので何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

### 最後に老爺の夢物語を一つ

27年後の2044年は医学部創立100周年、神戸病院創立175周年を迎えますが、未来開発センターの完成を待つまでもなく只今より全学一体となって、先進他学に追いつき追いつきの気概を持って懸命に頑張ってもらい、その暁には素晴らしい成果をあげて歓びに浸ることが出来るように。私は天国から応援してまーす。頑張ってもらい！！

注）神戸チフス餵頭事件—1934年5月〔昭和9年〕神戸市立病院に勤務の女医（東京女子医専卒、時々細菌学教室に出入り）が一年下の医学生と恋仲になり（内縁関係）郷里に帰り働き五年間仕送り続け、彼が目出度く博士号を持った一人前の医師になり神戸に帰り再会すると彼及び彼の家族は掌（てのひら）を返したように冷遇、約束を破棄、憤懣やるかたない彼女はかかん餵頭に培養したチフス菌を注射器で注入、元患者名で彼の家へ送る。彼と彼の弟が食べ、残りを彼の妹が勤務先の現会下山小学校に持参、結果は食べた人の内9名と彼及び持参の妹が発病、彼の弟が死亡したという事件です。事件の裁判は被害者一家よりも女医への同情の声が多く、神戸地裁は犯行は男性に肉体的、精神的、経済的苦痛を与えるためのもので、チフス菌感染の死亡率は18～20%と低く（??）殺意が無かったとの主張も加味して無期懲役の求刑に対し懲役5年、更に恩赦により3年となりました。

### 私と神緑会そして御協力をお願い

神緑会副会長 中野 康治（昭和52年卒）

「神戸大学にも医学部がある!」これが私の神緑会会員となるきっかけでした。高校時代理科系を選択したものの、工学部の電気、器械、建築等、特に興味のある学科はなく、その当時も理系進学のリブームであった医学部ならば選択を先延ばし出来るだろうと考えての受験（他の大学医学部）でした。この様な気持ちで合格するはずもなく一年間の浪人生活を過ごしました。その頃、親しい友人が六甲に住んでおり、三商大の流れを汲む神戸大学といったイメージの中、県立医科大学から国立大学へ移管された医学部がある事を知り、神戸大学医学部の受験となりました。入学当時の春には通学の阪急電車は夙川から六甲まで桜のトンネルの中を走り、素晴らしい気分を味わいました。又、六甲山の麓の教養部は、大阪市内南部に住む私にとって毎日ハイキング気分であり、ケーブルカーに乗って六甲山頂への登山も楽しい思い出です。しかし、六甲本部の印象の強かった神戸大学ですが、当時の医学部に通学する様になり、正直がっかりしたものです。特に基礎学舎は元々女学校の校舎を使ったと言われる木造の古めかしい建物であり、歩くとギシギシ音のする時代物の構造でした。その様な学部生活は、高校時代から親しんだラグビー部活動以外は楽しい物ではなく、不真面目な医学生であったと反省するばかりです。

卒業後の進路選択も自分ではなかなか決められず、ポリクリの指導教官がラグビー部の先輩であり「君はウロにやる事になっている」との一言で入局する事になりました。卒業後は「何を選ぶよりも、何をやるかが大切だ」との思いで、一人前の医師になろうと努力し、現在は泌尿器科クリニック開業30年となりました。医師として送り出してくれた母校に対して、そして神戸市内で事業を始め、継続していく中、やはり神緑会員である事に随分と助けられたと感謝しています。

我々の年代は昭和59年の神緑会の法人化（公益社団法人）のための基金設立の経緯がトラウマになっていると思います。同窓会神緑会の永年年会費の3万円が法人神緑会の入会金に置換えられました。その際法人に10万円の寄付をすれば永年会費となる決定も、勤務医がほとんどであった我々の

年代には詳しい内容の説明がなく、又、高額な寄付であり、『先輩開業医連中が勝手な事をしている』と思っておりました。しかし、この法人化により、学生時代には想像もできなかった立派な神緑会館が出来、若手研究者への様々な援助事業が出来ました（あの山中伸弥先生もその若手研究者の一人でした）。そしてその当時の銀行金利は年数パーセントであり、一億円あれば、7～800万円の利子がつき、年会費徴収が不要になると思われていたのです。現在の低金利政策では想像もつかない状態だったのです。私も神緑会の役員となり、やっとこの辺りの状況が分かって来ました。会員各位もこの事を理解して頂き、神緑会活動への御協力をお願いします。

医学部は他の学部と異なり、6年間という長い学生時代を100余名の少人数で過ごし、又卒業後も医学会という医師ばかりのあまり広くない世界で生活します。『同級生同士の同窓会は楽しいけれど、神緑会全体はどうも…』との方も多いと思います。しかし、母校が少しでも良くなる事が嫌な人はいないと思います。同窓会である神緑会に参加し、医学部75周年・神戸病院150周年記念事業に賛同して頂き、年会費納入・記念事業寄付を重ねてお願い申し上げます。

## 地方で頑張っています

### 平成卒者で地方在住者より

本来であれば母校である神戸大学ないしはその関連病院に所属して臨床・研究、そして後進の指導を行うべき時期にもかかわらず、兵庫県から遠く離れた地で勝手気ままに生活しております。

大変お世話になったにもかかわらず、母校に何ら貢献できていない自身を恥ずかしく思っております。

それでも私なりに母校愛は持っているつもりで、貴会から送付されるニュースレターを楽しく、そして懐かしく読ませてもらっております。

その様な私にできることは何かと考えました時に、少ないながらも寄付をさせていただくことしか思い浮かびませんでした。

私が寄付をしていることに関しましては前述の通り、母校や兵庫県の地域医療へ直接的な貢献・恩返しをできていないことに対する劣等感の裏返し

の様などころがあります。

兵庫県から遠く離れた片田舎からではありますが、神戸大学医学部や神戸大学病院のますますの発展や貴会先生方のさらなるご活躍を祈っております。

## ご寄附の申込み方法

### 申込方法

#### ●本学指定の払込取扱票によるご寄附

払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行・郵便局または払込取扱票に記載の銀行(4銀行)本支店間では振込手数料はかかりません。なお金融機関の窓口で10万円を超える現金振込みを行う場合は、振込みをされる方の本人確認書類(運転免許証、健康保険証、パスポート等)の提示が必要となります。

#### ●インターネットからのご寄附

本記念事業ホームページからお申し込みいただけます。クレジットカード決済、インターネットバンキング、銀行振込のいずれかをお選びください。  
※詳細は下記アドレスにアクセスください。

神戸大学 医学研究科・医学部

<http://www.med.kobe-u.ac.jp/>



### 税法上の優遇措置

本記念事業へのご寄附に対しましては、税法上の優遇措置を受けることができます。

#### ●所得税の優遇措置

寄附金額から2千円を除いた額について所得控除を受けることができます。(寄附金の合計額が総所得金額の40%)

#### ●寄附金控除額の計算方法

[例] 給与収入700万円・課税所得400万円の夫婦2人の世帯が10万円寄附した場合

寄附金額 10万円	
2千円(寄附金控除の対象外)	寄附金控除対象額 9万8千円

上記モデルケースの場合に還付される所得税の目安98,000円×税率20% = 19,600円

課税所得金額に対する還付される所得税の目安(10万円ご寄附いただいた場合)					所得税の税額	
課税所得金額					課税される所得金額	税率
400万円	600万円	800万円	1,000万円	2,000万円	195万円以下	5%
					195万円を超え 330万円以下	10%
					330万円を超え 695万円以下	20%
					695万円を超え 900万円以下	22%
					900万円を超え 1,800万円以下	33%
					1,800万円を超え 4,000万円以下	40%
					4,000万円を超	45%
19,600円	19,600円	22,540円	32,340円	39,200円		

#### ●神戸市個人市民税の優遇措置

神戸大学は、神戸市市税条例により指定を受けていますので、本記念事業に寄附した翌年の1月1日に神戸市にお住まいの方は、個人市民税の税額控除を受けることができます。

寄附金額から2千円を除いた額に6%を乗じた額が、寄附した翌年度の個人市民税から軽減されます。(寄附金合計額が総所得金額等の30%を上回っている場合は、総所得金額等の30%)

ご入金いただきますと「寄附金額収書」をお送りします。  
「寄附金額収書」は確定申告に必要となりますので、大切に保管下さい。

### 現金以外によるご寄附をお考えの方に

有価証券、不動産等の現金以外のご寄附については、記念事業事務局(TEL:078-382-5015)までご連絡ください。

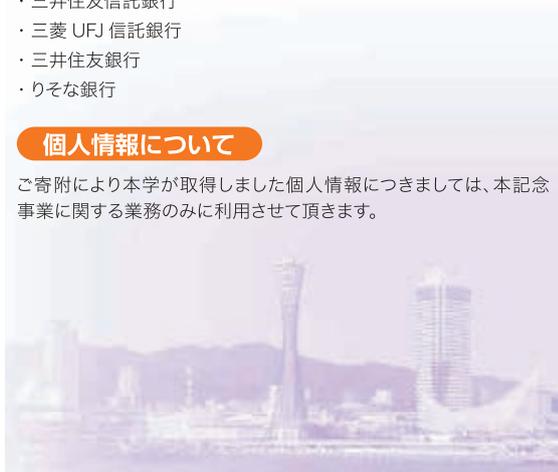
### 遺贈によるご寄附をお考えの方に

大切な資産の遺贈をお考えの皆様は、煩雑な相続手続きを代行する信託銀行をご紹介しますので、記念事業事務局(TEL:078-382-5015)までご相談ください。

- ・三井住友信託銀行
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・三井住友銀行
- ・りそな銀行

### 個人情報について

ご寄附により本学が取得しました個人情報につきましては、本記念事業に関する業務のみに利用させていただきます。



## 記念事業アクションプラン

### ● 未来医療開発研究センター(仮称)の設置

近年、大学医学部には基礎研究のみならず、質の高い臨床研究の推進による大学発の医療の創造・発信が強

く求められております。現在、本医学研究科と附属病院では、創薬など臨床応用を目指した基礎医学研究の推進と、その成果をいち早く臨床の場に届けるための臨床研究中核病院としての承認を得る事が最重要課題であります。その目的達成のためにも、新たに未来医療開発研究センター(仮称)の設置を計画しております。本センターの建設には約10億円に上る多額の資金が必要であり、国あるいは県に予算要求を行う予定です。しかし、事業採択にあたっては大学の自助努力による応分の経費負担が求められることが通例であり、本事業の場合少なくとも約4億円の自己負担が必要になると見込まれます。

### ● 人材支援のための奨学基金の創設

医学部学生の教育環境の充実の目的で、医学分館及び学生福利厚生施設などの改修に約1億円、「世界レベルの研究者を志す人材支援のための奨学基金」(仮称)の創設にかかる資金として約2000万円を本事業から供出したいと考えております。

### ● 記念誌の編纂

平成6年の神戸大学医学部創立50周年記念事業として、神戸病院や兵庫県立医学専門学校の発足以来の貴重な歴史的資料が多く収集され、神戸大学医学部50年史が編纂されました。今回の大きな節目の年に、神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念誌(仮称)の編纂も計画しております。

振り込み先口座は、所属や名前の公表等の記録面より、従来の払込取扱票の使用が原則とされています。同用紙の送付やご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

神戸大学 医学部総務課総務係  
078-382-5015

## 医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年記念募金寄附金額

平成29年10月 集計

### 病院等

職名等 コード	職名等	実績累計(平成27年11月～)		達成率(金額)
		入金金額	入金者数	
11	関連病院	8,610,000	27	47.8%
12	その他の病院(寄附あり)	2,830,000	21	8.3%
14	日本製薬団体連合会	9,696,000	60	40.4%

学内関係者

職名等 コード	職 名 等	実績累計（平成27年11月～）		達成率（金額）
		入金金額	入金者数	
21	医学部名誉教授及び元教授	3,300,000	22	66.0%
22	神緑会会員（下表に属さないもの）	114,141,515	174	57.1%
25	他大学転出教授等（その他）	60,000	2	2.4%
26	学部後援会	13,550,000	171	75.3%
27	慈恵団等	18,857,400	2	188.6%
小 計		149,908,915	371	57.5%

職名等 コード	職 名 等	実績累計（平成27年11月～）		達成率（金額）
		入金金額	入金者数	
31	教授（特命含む）	8,750,000	46	66.3%
32	准教授（特命含む）	1,600,000	11	18.7%
33	講師（特命含む）	1,500,000	15	23.8%
34	助教（特命，特定含む）	1,980,000	37	20.5%
35	医員	240,000	8	2.0%

注）コードその他大学の集計に準じたが、かなりの部分を削除しております。  
 詳細は管理課総務係へお問い合わせ下さい。（078-382-5015）

総 合 計	188,483,866	678	36.9%
-------	-------------	-----	-------

神緑会員 寄付者まとめ

2017年11月20日 現在

寄付金額	人 数
1 億円	1名
1,000,000円	2名
500,000円以上	1名
300,000円以上	7名
200,000円以上	48名
100,000円以上	114名
50,000円以上	41名
30,000円以上	28名
20,000円以上	7名
10,000円以上	39名
5,000円以上	1名
合計人数	289名

注）大学集計の分類とは関係なく神緑会員の集計とお考えください。更に慎重な整理を行います。



## 同窓会から社団法人への移行に伴う会費納入に関する整理

神緑会40周年記念事業として、①社団法人の設立、②奨学基金の創設、③神緑会館の設立の三大目標が昭和56年1月の総会に於いて決定された。

昭和56年7月から一口10万円の募金を三ヶ年計画で行った。参考までにその段階までの新入生、卒業生への会費に関する案内は、以下のように終身会費という言葉が使われていた。

### I 新入学生ご父兄各位殿

神緑会理事長 国屋輝道

#### 1) 同窓会終身会費納入のお願い

さて、神緑会といたしましては、懸案の同窓会館の設立、奨学資金の企画、在学生の記念祭援助、会報・会員名簿の発行、会員による学術講演会など、多方面にわたって事業を行っておりますが、さらにこれらを拡大充実させるため資金の必要に迫られております。

このたび神戸大学医学部入学と同時に神緑会の準会員となられる学生諸君のご父兄に、以上の事情をご理解いただき、ご入学の際に、神緑会の終身会費参万円をご納入いただき、神緑会の事業が円滑に運営されるようにご協力下さることをお願い申し上げます。

なお、終身会費を納入された場合は、準会員費ならびに正会員費は免除されます。

#### 2) 卒業生各位殿

正会員は年会費をお支払い頂く場合、①年3,000円、終身会費で支払い頂く場合②30,000円お納め頂くようになっております。なお、終身会費をお納め頂いた場合は、今後、会費の徴収は一切致しません。(詳細は会則をご覧ください)

誠に恐縮ですが、①②どちらかを12月末日までに同封の郵便振替、あるいは現金書留でお支払い下さいますようお願いいたします。

また今後、会費を2年以上滞納されますと、会報、名簿、その他印刷物の発送や諸連絡を一切おこないませんので、予めご了承下さい。

### II 社団法人の認可と会費制度の変更

募金の目標額は2億円とされ、10万円の寄付者は、会費免除とする事業で3,000人の会員に働きかけ、6,700万円の寄付を確保し、昭和59年2月に文

部省の社団法人の認可を得た。

59年度より、社団法人神緑会として運営され、それに伴って入会金30,000円、年会費5,000円に変更されました。同窓会の制度から大きく変わった社団法人による運営は、旧制度からの救済を以下のように行うこととし、終身会費の言葉が一人歩きし、不満の鎮静化を理事会が説明により解決しようとして現在に至る。

なお、この際の会費の特例は、以下の通りでした。  
第5条 かつて法人格を有しない法人である神緑会に終身会費を納入した者は、本会の入会金を納入したものと見なす。

2 かつて法人格を有しない法人である神緑会の40周年記念事業に寄附した者は、本会の年会費を免除する。

3 かつて法人格を有しない法人である神緑会に終身会費を納入しないで年会費を納入し、その額が3万円以上に達した者は、本会の入会金を納入したものとみなし、3万円を越えた分は年会費にあてる。

### III ご理解のお願い

この文章1)、2)、3)は、昭和卒者で未入会もしくは長期会費滞納者に対して、前号のニュースレターで救済策もしくは、広報誌の送付を取り止めの選択をお願いした事による問題の理解に役立てるためです。ただ、名簿発行の労力は大変で、この名簿に仮に退会者となる方々の氏名を省く選択はありえません。全員が同じルールの下で運営されることへの期待を表明します。実は、昭和55年～57年卒の学年で各学年の未入会者が30～35名おられます。この理由を各クラス代表にお聞きした際、「特に変わったことはなかった」とのことでした。しかし、一連の流れにより、新社団法人は、十分に協力をえられなかったと考えられます。平成卒では、13年～15年で各学年の未入会者が35～40名おられます。入学手続きに際し、管理課で入学金を支払った後、学務課で手続きするのが、現金の持ち運びを振り込みにした等、手続き変更のためではなかったでしょうか？今回、入学手続きを郵送のみで行えるように大学は変えようとしています。新たな未入会者を生むような気がします。

## 第12回ホームカミングデイ

### 本部記念式典と講演



ご講演中の山谷社長

学長挨拶に続き、「関西空港から神戸をのぞむ毎日」と題して、山谷佳之氏、関西エアポート株式会社社長の講演が行われた。工学部志望だった同氏は、農学部で工学部と関係ある分野（農業生産工学科）で学生の時に取り組んだ研究が大変役に

立ったと述べられた。卒業後、現オリックス株式会社に入社し、オリックスの成長とともに現在に至り、オリックスが幅広い企業となったことが現在の事業の遂行に大変役立っていると述べられた。大変、学ぶことの多い講演でした。



### 医学部医学科の学部企画

的崎研究科長・医学部長の大学の現状報告を兼ねた挨拶に次いで前田神緑会会長が挨拶した。

講演は、昨年度 YIA 受賞講演で柳田匡彦氏の研究紹介、特別講演Ⅰ「医学部附属国際がん医療・研究センターの開院と現況について」同センター、味木徹夫教授、特別講演Ⅱ「認知症の人にやさしいまちづくり、神戸市における試み」前田 潔名誉教授。

講演後、全員で記念写真を撮った。学生の参加が多く、卒業生の少なさをカバーした写真となりました。

学長の言葉では、「ホームカミングデイは、卒業生の方同士の親睦・交流を図っていただく場であるとともに、教職員・学生・名誉教授とも親交を深めていただき神戸大学への理解を深めていただく機会として実施してきました。今年は、ホームカミングデイにあわせ地域住民の方にも参加いただける企画を用意し、地域の方にも神戸大学をご理解いただく場になればと思っております。これまで以上に教育・研究活動を通して地域に貢献する大学を目指し、尽力していく所存でございます。どうぞ今後とも神戸大学へのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。」となっていました。

学長指定の6学年：55周年（昭和37年卒）、50周年（昭和42年卒）、45周年（昭和47年卒）、40周年（昭和52年卒）、35周年（昭和57年卒）、25周年（平成4年卒）、神緑会の追加：7学年、昭和27年卒、32年卒、62年卒、平成9年卒、14年卒、19年卒、24年卒の各学年に重点学年としての招待状をお送りしました。

実は、残念ながら十分なフォローができず、本部



第12回ホームカミングデイ  
司会 岡山雅信先生



的崎 尚 研究科長・医学  
部長



前田 盛 神緑会会長



第4回 YIA 最優秀賞受賞者  
柳田匡彦先生



医学部附属国際がん医療・  
研究センターセンター長  
味木徹夫教授



前田 潔 名誉教授



横崎 宏 医学科長



昭和37年卒 小川晶三先生

から送られてきた出席者リストをみて、例年以下の出席者数で大変驚きました。名簿印刷に没頭し、対応が遅れたにつきます。「土曜日は働いている人が多い」のいいわけは別として、各学年単位の同窓会が広く行われたと理解しております。

大学医学科での講演会、第5回 YIA、美術展示（1）歴史展示（5）は予定通り開催し、「先輩と語ろう」シリーズの焼き直し版、昭和34年卒小川昌三先生の「ハワイからの遺言」には、留学で世話になった学生と卒業生31名が出席しました。小川先生は、歴代のアメリカ大統領の施策とアメリカ医療の変遷を詳しく説明されました。何度も出てきた「アメリカは自由の国」発言の真意は、国民皆保険こそが医療の本来あるべき姿と思っている日本人にとって、オバマケアがアメリカで受け入れられない理由をよく理解できました。

小川先生が現在もハワイで医療に従事できているのは、アラモアナショッピングセンターにそびえ

たつビル上階にある St. Luke's Clinic を運営する小林恵一先生（昭和63年卒）のリーダーシップの存在、学生を広く受け入れてくれている現状に感謝している事等、聴衆を強く引きつけた講演会でした。

美術展示は、藤谷委員長、歴史展示は、改めて昭和19年兵庫県立医専入学から卒業までを中心に、現在に連なる活動の出発点としました。



ホームカミングデイ懇親会（神緑会館多目的ホール）



第12回ホームカミングデイ 集合写真

## 第5回神緑会ヤングインベスティゲーターアワード発表会

### 発表演題と表彰者リスト

#### 最優秀賞

日本語	西本 祐希 ニシモト ユキ	非常勤医・ 大学院博士課程 4回生	糖尿病・内分泌内科学	褐色脂肪細胞における脂肪滴蛋白 CideA と FSP27 $\beta$ による多房性小脂肪滴形成の制御機構
-----	------------------	-------------------------	------------	---



青井貴之教授 YIA 実行委員長



YIA 最優秀賞 西本祐希さん



YIA 受賞者（最優秀賞・優秀賞）集合写真

#### 優秀賞

日本語	松本 隆作 マツモト リュウサク	医学研究員	糖尿病・内分泌内科学	疾患特異的 iPS 細胞を用いた先天性下垂体機能低下症の病態解明
日本語	松井 千絵子 マツイ チエコ	特命助教	感染制御学	シャペロン介在性オートファジーが関与する HCV 誘導性 HNF-1 $\alpha$ 分解機構
日本語	藤島 尚人 フジシマ ナオト	大学院修士課程	分子生物学	ホスホリパーゼ C $\epsilon$ 選択的阻害剤は、抗がん効果と抗炎症効果を示す
日本語	末宗 和樹 スエムネ カズキ	学部学生 5 回生	病理学分野	食道扁平上皮癌と腫瘍関連マクロファージとの相互作用は CCL2/CCR2 経路の活性化を介して癌進展に關与する
英語	Donytra Arby Wardhana ドントラ アビ ワダナ	大学院博士課程 4 回生	Division of Cardiovascular medicine 循環器内科	Identification of a Novel Gene that Preserves Adipocyte Insulin Signaling and Systemic Metabolic Homeostasis
英語	上中 健 ウエナカ タケシ	非常勤医・ 大学院博士課程	Neurology 神経内科	In silico drug screening by using genome-wide association study (GWAS)-data identified a novel disease-modifying drug for Parkinson's disease
日本語	金野 祐 コンノ タスク	特命助教	シグナル統合学分野	腸内容物による腸上皮細胞のターンオーバー制御
英語	Jajar Setiawan ジャジャール セティアワン	大学院博士課程 3 回生	Molecular and Cellular Signaling シグナル統合学	Role of Tsc2-mTORC1 signaling in regulation of intestinal epithelial homeostasis
日本語	原 哲也 ハラ テツヤ	特命助教	循環器内科学	新規血栓モデルによる血栓形成機構の生体イメージング
英語	深瀬 直政 フカセ ナオマサ	医員	Orthopaedic Surgery 整形外科	Augmentation of Fracture Healing by Low Adhesive Scaffold Collagen (LASCOL) in a Rat Femur Osteotomy Model.

## 第1回神緑会美術展を終えて

藤谷 哲 造 (昭和37年卒)

10月28日第1回的美術展を神緑会館廊下にて開催いたしました。

何点位集まるのか、心配でしたが、5名の会員と1名の客員から出展していただきました。その作品を紹介いたします。

- ①大石勝之先生 (S36卒)「紙人形とスケルトン」:  
50数年前に初めて描かれた油絵だそうです。医師らしい構図で、幽冥を感じます。骸骨は男性だそうです。
- ②川口恵子先生 (S48卒)「プリンセス」は水彩画です。川口婦人科のHPにはメルヘンチックなイラストやCGが沢山貼り付けてあります。この作品は手書きだそうです。気持ちが若く、明るい性格の先生とお見受けします。
- ③宮地千尋先生 (S54卒)「砥峰高原」は神崎郡にあるススキの広がる県立自然公園で、「ノルウェイの森」や「平清盛」のロケ地として有名です。力強いタッチと独特の色づかいで描かれたこの作品は



右から S34年卒小川先生、岩崎先生、S37年卒藤谷先生

印象的で、遠くまで続く広い高原の様子が伝わり気持ちの良い作品です。

- ④王少飛さん (客員：神大美術教育学修士)「花」。王さんは中国からの留学生で、子供のころからの作品をスマホで見せてくれました。具象の洋画、水墨画と多彩ですが、さらに研鑽すべく来日されたようです。



①

②

③



④

⑤

⑥

- ⑤吉岡正子先生 (S47卒)「ペリヘラ祭り」はアジア3大祭の1つ、スリランカのお祭りを取材した作品でしょう。キンキラの装身具をつけてもらった象、賑やかな祭りの様子がよく表現されております。

- ⑥藤谷哲造 (S37卒)「白菜畑」牛窓の蕪崎の根で、冬日に光る錦海湾を背景に、岡の畑で白菜を収穫されるお百姓さん夫婦をスケッチしました。

次回はもう少し広い部屋で展示日数も長くしたいと思います。多くの神緑会会員が応募して下さることを期待しています。

## 2017年度大倉山祭開催報告

2017年度大倉山祭実行委員長 杉本 愛美 (学部4年生)



スポーツ大会	10月8日	国文グラウンド
医療シンポジウム	11月18日	研究棟B 2階 第二講義室
大倉山祭本祭	11月19日	大倉山公園

去る10月と11月に、実行委員会の企画のもと、「スポーツ大会」「医療シンポジウム」「大倉山祭本祭」が、大倉山祭のイベントとして開催されました。

2017年度の大倉山祭は「プレミアム トラ医デー ～Challenge for Change～」というテーマを掲げ、総勢51人の委員で、医学部生らしいオリジナリティを發揮した学園祭になるようアイデアを絞り企画を進めてまいりました。

10月8日に開催されたスポーツ大会では、学部生の有志6チームが、優勝を目指しソフトボールで熱い戦いを繰り広げました。この日はスポーツ日和の快晴で、青空のもと汗を流しながら、選手も応援に来た人も学年・部活動を超えて交流する楽しい一日となりました。

本祭の前日である11月18日には、「あなたの知らないホルモンのハナシ ―生活習慣病との関連性―」というテーマで、市民公開講座である医療シンポジウムが開かれました。当日は、学生以外にも地域の方々に多くご来場いただき、身近な存在であるホルモンや糖尿病の奥深さについて、先生方のご講演を通じて知識を深めました。後のページでも開催の

様子について詳しくご紹介しておりますので、是非ご覧いただけますと幸いです。また同日、会場となった研究棟のテラスでは、学生の課外活動団体である東洋医学研究会が「冷えと漢方」というテーマでパネル展示と漢方試飲会を行い、活動の成果を発表しました。

11月19日の本祭では、気温は低い中でしたが天気には恵まれ、ステージでの出し物、公園内のブース共に大きな盛り上がりを見せました。メインステージでは毎年恒例、人気の吉本お笑いライブや各部活動の看板娘によるダンス対決、医学部軽音部による音楽ライブなどの盛り沢山のプログラムが生まれ、サイドステージではクラシックギターやジャグリング、BMX（自転車）などの本格的なショーを間近で楽しむことができました。会場では各部活動が出店する模擬店が、来場した方の投票数で決まるB1グランプリ優勝を目指して調理とアピールに熱を入れました。また委員が運営する受験生相談コーナーや縁日、手相占いのコーナーも、特に一般の方に盛況で、医学部に親しみを持ってもらえるきっかけになったのではと感じております。そして、今年の新企画である「出張！六甲健康ランド」では、神戸大学生生活協同組合のスタッフの方のご協力のもと、アルコールパッチテストや体脂肪率測



2017年度大倉山祭実行委員 総勢51名



軽音部とクラシック愛好会合同の音楽ステージ

定、神大生の食生活相談や骨密度測定ができるコーナーが登場しました。こちらは午後限定の開催でしたが多くの方が訪れ、結果を通じて日頃の食生活や運動について振り返っていただけたのではと思います。

今年も学園祭の更なる活性化を目指し、委員一同、ポスター掲示や新聞記事による広報や、企画の充実に力を入れてまいりました。その成果を計るため、新たな取り組みとして入り口での来場者数のカウントを行った結果、本祭では述べ三千人以上の方に会場にお越しいただいていることが分かりました。その多くが学生以外の、地域や大学病院の繋がりで来られた一般の方であり、これからの大倉山祭をより幅広い層の方に楽しんでいただけて、地域に還元できるような祭りに発展させていかねばならないと、身が引き締まる思いです。

カリキュラムが変更となった今年は3・4回生合同で実行委員会を結成し、また時期を2週間ほど後ろ倒しにして学園祭を開催することとなりました。それに合わせて変更しなければならない点も多く、壁にぶつかることもありました。皆で学年や部活の隔たりを超えて約半年間奮闘し、絆を深めてまいりました。学校のコミュニティを超えた地域や社会の方と関わり、行事の開催にあたって多くの方々のご支援があることを知ることで、机に向かっての勉強だけでは得られない大切なことを学び、実行委員一人一人がそれぞれに成長することができたのではないかと考えております。

このようにテーマに込めた目標を達成でき、無事大倉山祭の開催に至りましたのも、ひとえに神緑会の会員である先生方からの温かいご支援・ご協力があったることと存じます。今年では会員の皆様から、昨年度より大幅に多い、約180万円のご寄付をいた

だきました。皆様からいただいたご支援により、屋外の会場の設営や、チラシやパンフレット等の広報資料の作成、吉本お笑いライブなどのゲストの招致といった中心的運営の進行はもとより、委員会による企画や安全対策の更なる充実を図ることができました。心より感謝と御礼を申し上げます。

今年度の大倉山祭が終了したこれからは、来年度以降の学園祭をさらに充実したものにできるよう、次代への引き継ぎに力を入れてまいり所存です。今後とも、私どもの学生生活に対しまして変わらぬご厚情とご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。大倉山祭のご報告と御礼の挨拶とさせていただきます。本当に有難うございました。



軽音部とクラシック愛好会合同の音楽ステージ



新企画の手相占い



新企画の麻雀大会



模擬店 B1グランプリ優勝を目指し部活が熱戦を繰り広げました



委員による縁日 小さい子に人気でした



今年新たに登場した「出張！六甲健康ランド」コーナー



会場の様子 のべ3000人以上の方にお越しいただきました



美術部の作品販売

## 「大倉山祭医療シンポジウム」を開催しました

大倉山祭医療シンポジウム実行委員長 伊藤 恵理子 (学部4回生)

平成29年11月18日（土）、研究棟にて市民公開講座、神戸大学医学部大倉山祭医療シンポジウムを開催しました。「あなたの知らないホルモンのハナシ～生活習慣病との関連性～」をテーマに、からだの正常な働きを調節している「ホルモン」がどのように健康に影響を与えるのか、また、内分泌の代表疾患である糖尿病とその原因の一つである肥満について地域の皆様や学生とともに学びました。

講師として、神戸大学大学院医学研究科糖尿病・内分泌内科学部門教授である小川渉先生と同じく同部門准教授である高橋裕先生をお招きいたしました。小川先生は糖尿病の発症メカニズムとその治療の最先端について、高橋先生はホルモンの分泌

動態とその作用についてご講演くださいました。また、学生発表として堰本亮平さん（二回生）が肥満に伴う生活習慣病の発症機序についての研究成果を報告し、東洋医学研究会による冷えと漢方についての展示と漢方試飲会も行われました。



糖尿病内分泌内科学教授 小川 渉先生

皆様のご協力のおかげで、生憎の雨にも関わらず参加者91人の盛会となり、内分泌と生活習慣病というテーマに興味を持った地域の方々がたくさん来



糖尿病内分泌内科学  
准教授 高橋 裕先生

場してくださいました。講演では、臨床・研究共に第一線で活躍しておられる両先生方の大変わかりやすいお話に来場者の皆様も聞き入れ、時に笑いや驚きの声があがるとても有意義な時間となりました。講演についてのアンケートには参加者の皆様から「医療がどんどん進んでいることがわかり、今後の成果が楽しみだ」「大変楽しく、勉強になった」「身近な話題で興味深かった」「ぜひ来年も参加したい」など温かいお言葉をたくさんいただ

き嬉しく思います。末筆ではございますが、本シンポジウム開催にあたりご尽力くださいました多くの方々に感謝申し上げます。特に小川先生、高橋先生にはご講演をお願いしたところ、大変お忙しい中快くお引き受けいただきました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。また、ご支援いただきました、神緑会、兵庫県医師会、神戸市医師会にもこの場をお借りして感謝申し上げます。

き嬉しく思います。

大倉山祭医療シンポジウムは毎年大倉山祭の一環として行われています。次の開催は2018年11月頃を予定していますので、是非たくさんの方々に参加していただき、医学についての知識を深め新しい発見を共有していけたらと思います。

大倉山祭医療シンポジウムは毎年大倉山祭の一環として行われています。次の開催は2018年11月頃を予定していますので、是非たくさんの方々に参加していただき、医学についての知識を深め新しい発見を共有していけたらと思います。



医療シンポジウム会場



東洋医学研究会のポスター展示と漢方試飲会

## 書籍紹介

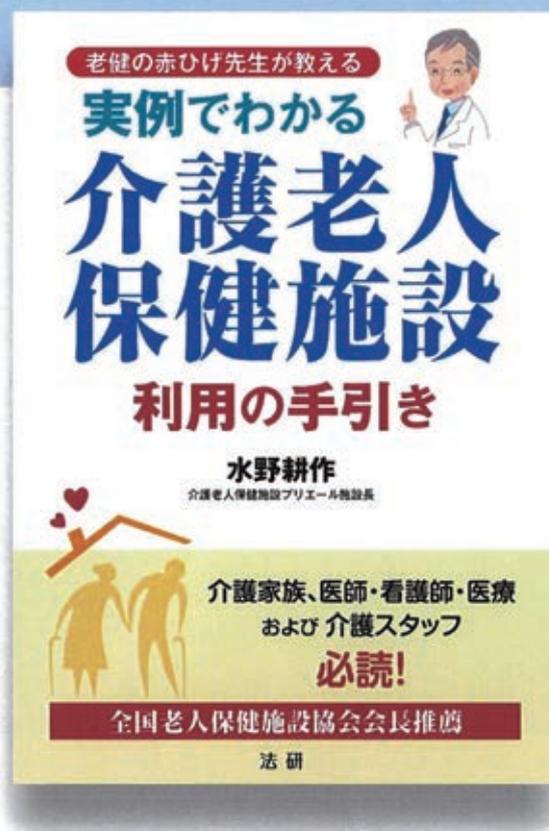
### 全国老人保健施設協会会長推薦

#### 高齢者やその家族、 医師、医療・介護関係者も必読

著者は介護老人保健施設長として勤務する傍ら、一医師として介護老人の健康管理や治療にあたっています。一般には介護施設について虐待や介護士の待遇に関心をもたれていますが、真の施設の状況は理解されていません。

介護老人保健施設とはどのようなところで、実際にはどのようなことがなされているのか、入所方法や条件、入所後の生活、在宅復帰への道標、終焉への導きなどを詳述。どの項目にも実例を用意し、一般の解説と合わせて理解が深まります。詳細な情報提供で高齢者介護の悩みに答える、「老健」について知るための決定版！

\*介護老人保健施設  
一般に「老健」と略称されます。入所高齢者に対して、理学療法士などの専門的なリハビリテーション、それに介護士による食事動作、入浴訓練や衣類の着脱法など日常生活訓練を施して在宅復帰を目指します。自立させることを目的としているので、法律上も原則3カ月間の入所を検討することと決められています。訓練の効果や経過により期間の延長も可能で、必要ならば他の施設へ斡旋したり、看取り介護もできる高齢者介護の中核的な施設です。



#### ●主な内容●

- |                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| 第1章 高齢者と介護            | 第5章 介護老人保健施設のリハビリテーション |
| 第2章 老人施設の種類と特徴        | 第6章 介護老人保健施設の医療と介護     |
| 第3章 介護老人保健施設の入所まで     | 第7章 介護老人保健施設と各種の制度     |
| 第4章 介護老人保健施設で働くスタッフたち | 第8章 家族との連携による介護        |

#### ◆◆◆著者プロフィール◆◆◆

水野 耕作 (みずの・こうさく)/介護老人保健施設プリエール施設長  
神戸大学医学部卒。平成4年神戸大学医学部教授(整形外科)、13年定年退官・神戸大学名誉教授、神戸労災病院院長、20年同病院名誉院長、20年10月現・医療法人社団王子会理事、介護老人保健施設・プリエール施設長。各種のテレビ出演・阪神淡路大震災等でのボランティア活動・市民講座講師などで活躍。

#### 推薦の言葉

著者は介護老人保健施設長の経験から、特別養護老人ホームと比較して、介護老人保健施設は在宅復帰を目的とするため、入退所の頻度が高いこと、医療の必要性があるにも関わらず医療保険証の使用

が制限されること、看取り介護、強化型老健など複雑な運営規則があり、一般人はもちろんのこと、医師その他の介護・医療関係者も十分に理解しが多い。

地域包括ケアシステムや医療・介護連携が叫ばれ、高齢者の在宅復帰や地域での生活を推奨されて

いるが、介護老人保健施設は在宅復帰の中核的な役割を担っている。この書籍は、単なる老健の手引き書、いわゆる一般的なマニュアルではなく、介護老人保健施設とはどのような施設で、どのように運営され、どのように利用されているのか、また、どのようなトラブルが発生するのか、実例を中心に著している。介護老人保健施設を理解し、医療・介護連携を円滑に指導するために役立つ書籍である。

## 書籍の紹介

### 実例でわかる「介護老人保健施設 利用の手引」

不肖わたくしは神戸市中央区に介護老人保健施設・プリエールの施設長兼医師として勤務しているものでございます。書面にてたいへん失礼を申し上げます。

老健については、特別養護老人ホームと比較して、永久入所施設でなく、入退所の頻度が高いこ

と、医療の必要性と医療保険証の使用制限、看取り介護、強化型老健など複雑な規則もあり、一般人はもちろんのこと、医師、介護師、介護士その他の医療関係者の十分に理解しがたいように感じました。

この書は一般的なガイドブックではなく、介護老人保健施設とはどのような施設で、どのように運営され、どのように利用されているのか、どのようなトラブルがあるのか、実例を中心に著しました。

一般の高齢者やその家族はもちろんのこと、医師、介護師、介護福祉士、介護支援専門員、リハ職員など医療や介護のみならず福祉行政に携わる方々に、ぜひ読んでいただきたいと念じております。

ご通読いただき、ご理解いただければ、貴会のニュースや広報誌などで、会員の方々にご紹介いただければ幸いです。

(水野耕作)

先生の良きパートナーでありたいー  
私たちはそのために頑張ります。

ジェネリック医薬品

ワクチン・衛生材料

医療機器・調剤機器

カード事業 (JAPAN DOCTOR'S CARD)

生命保険・損害保険

医業経営コンサルティング

リネン・医療用寝具リース

医療用食品・食器・厨房機器

## 神戸医師協同組合

本部 神戸市中央区神若通3丁目2番15号  
TEL 078(241) 8995番 FAX 078(231) 0910

ホームページアドレス <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>

神戸事業所 TEL 078(241)8991番(代) FAX 078(242)8251  
尼崎事業所 TEL 06(6438)2561番(代) FAX 06(6438)2339  
明石事業所 TEL 078(936)3535番(代) FAX 078(936)3349  
姫路事業所 TEL 079(239)5725番(代) FAX 079(239)2513  
西神事業所 TEL 078(795)6612番(代) FAX 078(795)7084

## 名簿発行について

平成29年度版名簿の作成は平成29年5月に第1回名簿編集委員会を開催し、クラス代表に調査を依頼する等で内容充実を図り、下記（①名簿編集スケジュール）の日程で名簿編集を行った。（2015年度版とのデータ内容の比較を行い別表1にまとめた）

なお、名簿価格について制作関係費用等を勘案して10,000円に変更しました。又、名簿広告については企業、関係病院、開業医院、神緑会支部その他から協力いただきました（詳細は下記②名簿広告協力一覧）。まだ申し込まれていない方は、神緑会事務局へ申し込んで下さい。

### ①名簿編集スケジュール

#### 平成29年版（2017年発行）

##### 5月

5/20(土) PM16:30～

名簿編集委員会（第1回）  
検討事項案

##### ①編集に関する事項

- ・ 版型 ・ 空白欄のデータ入手手段
- ・ デザイン、色

##### ②印刷・発刊に関する事項

- 半・広告掲載依頼  
（企業、病院、支部、名刺広告等）
- ・ 配布協力金・印刷部数
- ・ 頒布予約、広報

##### 6月

6/17(土)

定時総会 「名簿編集委員会」よりスケジュール等を報告

##### 7月

7月上旬～下旬

広告依頼 広告依頼文送付及び依頼受付（集約）

7/1(土) PM16:30～

第2回名簿編集委員会

7/3(月)

NL9-2掲載原稿入稿(名簿発行 予約申込について)  
→ H293/31 発行予定

7/5(水)

福田商店 広告(企業・関連病院)原稿確定→広告募集  
基本契約改定（手数料 20%→18%）

7/20(木)

支部長あて広告依頼文 発送（締切 9/20）  
クラス代表あて名簿内容確認修正依頼文発送  
（締切 8/31）

回収分を順次精査（神緑会事務局）  
（8月～9月末）原稿入稿及び校正

##### 8月

8/26(土) PM16:30～

第3回名簿編集委員会

- ① スケジュール
- ② その他

##### 9月

会員名簿編集に関する確認（空欄の調査）  
各クラス代表に再確認

（メールで未回収クラス代表の調査を再依頼）  
広告締切 データー締切（9/末）  
→福田商店入稿締切

##### 10月

名簿空欄の調査及び原稿校正

##### 11月

11月20日 発刊

### ②名簿広告協力一覧

（企業別）

	件数	金額
企業	37	2,370,000
関連病院	14	990,000
開業医院	24	480,000
支部	13	600,000
その他	1	60,000
計	89	4,500,000

## 別表1

## 前回（2015年）以降の修正データ数

和 暦	変更数	クラス代表からの協力	備考
S24	3	○	★★
S25	9		★
S26	2		★
S26 (医大)	5		★
S27	10	○	★★
S28	7	○	★★
S29	9	○	★★
S30	8	○	★★
S31	10	○	★★
S32	8		★
S33	7	○	★★
S34	11	○	★★
S35	11	○	★★
S36	10		★
S37	16	○	★★
S38	17	○	★★
S39	11		★
S40	10		★
S41	7		★
S42	27	○	★★
S43	28	○	★★
S44	18		★
S45	22	○	★★
S46	14	○	★★

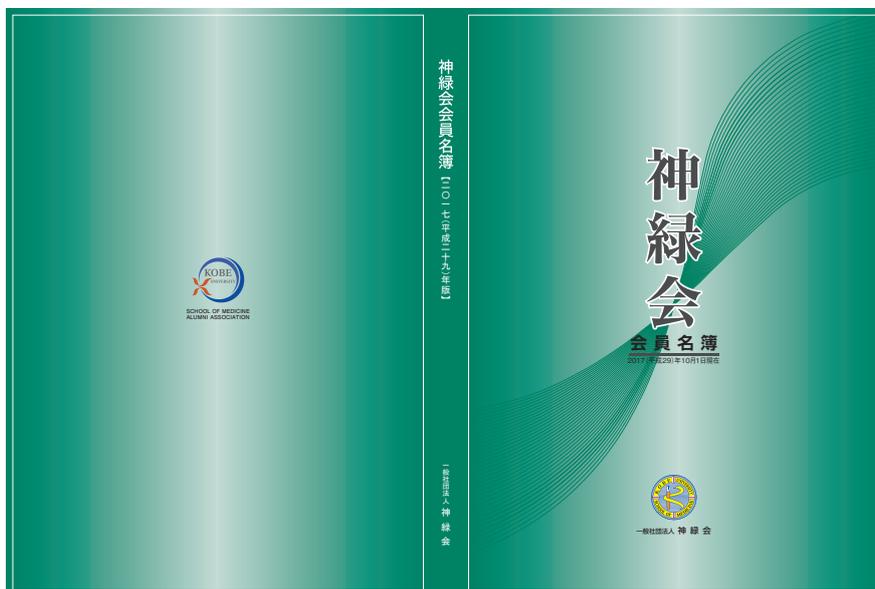
和 暦	変更数	クラス代表からの協力	備考
S47	10		★
S48	10	○	★★
S49	17		★
S50	12		★
S51	11		★
S52	22		★
S53	15	○	★★
S54	41	○	★★
S55	18		★
S56	21		★
S57	23		★
S58	29	○	★★
S59	20		★
S60	21		★
S61	25	○	★★
S62	21		★
S63	20		★
H01	20		★
H02	27		★
H03	23	○	★★
H04	36		★
H05	21		★
H06	36	○	★★
H07	22		★

和 暦	変更数	クラス代表からの協力	備考
H08	32	○	★★
H09	42	○	★★
H10	34		★
H11	35		★
H12	38		★
H13	51	○	★★★
H14	42		★
H15	45		★
H16	48	○	★★★
H17	39	○	★★★
H18	40		★
H19	39		★
H20	40		★
H21	33		★
H22	47		★
H23	46		★
H24	48		★
H25	46		★
H26	62		★
H27	82		★
総合計	1,690		
その他：			

備考：協力度（クラス代表からの情報提供を含む）により★印を追加しています。

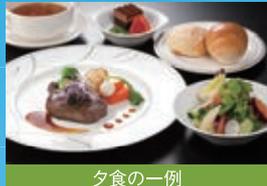
各クラス代表のご協力に感謝します。

\* 前回は、平成元年～10年卒、今回は平成11年～20年卒のクラス代表を充実の重点学年としました。



# 今は自由にアクティブに暮らしたいけれど、 将来の介護は不安という方へ

予約不要のレストラン、大浴場、温水プール、フィットネスルームなど  
共用部が充実。シャトルバスが三宮、元町へも無料運行。



夕食の一例



ウォータービューダイニング



温水プール

## 安心の医療支援・介護体制

将来介護が必要になっても、  
要介護者3人に対してケア  
スタッフ(看護師含む)2人以上  
という手厚い介護人員体制



建物内には岩永クリニック



真向いには神戸赤十字病院

2017年6月にオープンしました

介護付有料老人ホーム

入居時自立

# サンシティタワー神戸

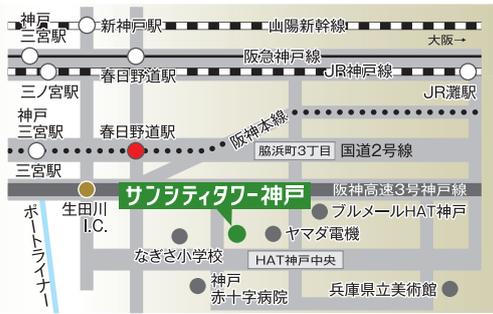
### 所在地

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通2-3-5

### アクセス

阪神電鉄本線「神戸三宮」駅より  
1駅の「春日野道」駅下車  
徒歩 約7分(約0.56km)



建物の権利形態/事業主体非所有

ご予約時に日程をご相談下さい。

# 個別見学受付

要予約



受付時間/午前9:00~午後5:00(土日祝も受付)

# 0120-33-1655

【サンシティタワー神戸概要】●所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号 ●敷地面積/12,431㎡ ●建築面積/5,861㎡ ●延床面積/57,391㎡ ●構造規模/RC造(一部S造)、地上35階 ●居室数/483室(37.30㎡~112.76㎡)、介護室/91室91名、一時静養室/4室4名(20.8㎡~25.61㎡) ●土地・建物の権利形態/事業主体非所有 ●事業主体・運営管理/株ハーフ・センチュリー・モア ●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院(大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km) ●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか ●協力内容/人間ドックに利用できます ■兵庫医科大学病院(兵庫県西宮市武庫川町1-1、施設から約18.5km) ●主な診療科目/総合内科、外科、眼科、整形外科、脳神経外科ほか ●協力内容/高度医療を必要とする場合の入院、外来、緊急時の対応、人間ドックに利用できます【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック(別法人) ●主な診療科目/内科、外科、消化器内科、リハビリテーション科【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態/利用権方式 ●利用料の支払い方式/全額前払い方式 ●入居時の要件/入居時自立、原則満70歳以上の方(平成30年1月より) ●介護保険/神戸市(兵庫県)指定介護保険特定施設、神戸市(兵庫県)指定介護予防施設 ●介護居室区分/全室個室 ●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上 ■お客様の個人情報は、資料の発送や見学会のご案内のほか、各種の統計調査に利用する場合があります。尚、個人情報はご本人の承諾なしに第三者に提供することはありません。不都合がございましたらフリーダイヤルまでご連絡ください。

(株)ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

もう半世紀すこやかに  
株式会社 ハーフ・センチュリー・モア

〒107-6030 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 30階  
☎0120-77-5088 TEL. 03-3505-6688 FAX. 03-3505-6198

www.hcm-suncity.jp

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱東京UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機(パナソニック)・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

## わが母校誕生のころ ―本学の神話時代― (4)

故 中 村 和 成 (医大1期 昭和26年卒)

### 虚 脱

3月17日の大空襲で自然休講の形だった講義も4月2日(月)8時半よりの学生による学舎内外の清掃により気分をとり直して再び始められました。神戸へはあいも変わらず毎日の様に敵機が来襲して来ましたが、それでも想像されるよりはわりときちんと講義はなされ、敵襲のあいまをぬって学業は進められ、4月12日(木)より薬理学も新たに始まりました。

4月20日(金)は開校1周年記念日、学生は午前8時登校。小川校長より訓話ののち、当時甲南高校(旧制)校長だった天野貞祐博士より“医家と教養”と題する講演を11時すぎ迄聴きました。ここ迄なら現在の開校記念日と大同小異なのですがそれからあとが変わっていました。配属将校より学生一同校庭に整列を命ぜられ、各自胸に名票をはっきりつけているかどうかという服装検査―いわば気合い入れ―が始まりました。私は胸に名札なんかつけることは絶対嫌だったものですから、たるんどろとすることで懲罰に学帽を配属将校助手の中尉に取り上げられてしまいました。

4月23日(月)にはソ連軍ベルリン市内に突入、5月2日(水)の新聞にはヒトラーの死が報ぜられ、大本営がいかにうまく報道しても、もう駄目だということは誰もが感ずるようになりました。私達学生もいつ戦線にかり出されるかも知れない。そしていつ死ぬかも知れない。しんそこからそう感ずるようになりました。しかし5月10日には附属病院の職員対学生のテニスの対抗試合を焼跡のコートでやっています。今から思うとどう考えても実に奇妙な感がしてなりません、案外今考えるよりも一方ではやけ半分でのんびりしたところがあったのかも知れないなどと考えたりしています。

テニスをやっているかと思うと次の日には講義のあい間に学校近所の焼跡整理にかり出されました。平野辺りへは随分行かされたと記憶していま

す。又空襲による類焼を防ぐため家屋疎開という名のもとに何ともない空家を壊すのを手伝ったりしました。壊した家の材木は壊したものが勝手にどんどん運び去ったのですから今から考えると全くのむちゃくちゃをやっていたわけで、学生が壊した分は荷車に積んで学校へ持ち帰り防空壕を作る材料にしていたと思います。

5月22日(火)の新聞に学徒隊結成と発表され、本土上陸の際は学校がそのまま軍隊になる仕組みになるとのことでしたが当時すでに軍には私達にわたす銃もなく、あるものはせいぜい“ごんぼ剣”位なものでした。

5月31日(木)より我々の講堂は新入生のため今の基礎学舎3階細菌学実習室のある部屋へ移りました。床はセメントのまま、窓ガラスは破れたまま部屋のなかに裸のセメント柱が何本も立っている全く陰気そのものの教室でした。

6月1日(金)医師不足のため歯科医師を再教育して医師免許証を与えることになり、我々の学校もその講習会場の一つになり、この日から講習が始まった様子でした。同じ日の昼過ぎB29、400機により5月11日(被爆地東神戸より西宮迄)以来の大空襲があり西大阪、尼崎が特に大被害をうけました。

6月4日(月)より生理学の実習が始まりましたが、翌5日(火)再びB29、350機により神戸市の東半分と芦屋がこっぴどくやられました。この頃になると敵は昼間堂々とやって来て、焼夷弾攻撃よりむしろ1トン爆弾の方が多くなって来ました。そのため死傷者が目立って多くなり、又ちやちな防空壕では何の役にもたたなくなりました。この日の空襲で基礎学舎4階の講堂はモロトフのパン籠と称する大型焼夷弾が天井を貫きましたが4階の床で止まったところを学生一同でからくも消し止めました。今でも基礎学舎の屋上に上ってみたらその爪跡が残っていると思います。附属病院は再

び負傷者のため大混雑を呈しました。廊下にまで溢れる超満床の被爆者の膿と体臭のため、病院へ入ると一種どくとくの悪臭が鼻をつくようになったのもその頃でした。そして神戸市の家屋はこれらの空襲で約半数（44%）となってしまったのです。

その頃の日記をくってみますと私は比較的にまじめな方でしたが、それでも平均1日おき位しか講義を受けておまりせん。サボっているのではなく、電車が止まったり、空襲があったり、警報が出たりしてこちらが行けなかったり、折角学校へたどり着いても先生が同じ理由で来られずに休講になったりしていたのです。

8月1日（水）にはさきに新聞に載った学生義勇隊の結成式が行われました。しかし夏休みは5日からと決定、やれやれということで遠方から来ている学生は嬉々として帰り支度を始めました。地方の農村から来ている人達は皆郷里からは食糧もないし、いつ何時弾にあたって死ぬかも知れない都会にいるより早く帰れ帰れとせき立てられていたそうですが、焼け出されて、下宿を転々と替えながらも皆随分頑張っていた様子でした。個人を例にあげて恐縮に存じますがノッポの森雅和君がお母さんの作ってくれたという“防空頭巾”をいつも背中にしょって汽車の汽笛が聞えて来るたびに四国の郷里に帰りたい、帰りたいといいながら雑炊腹で頑張っていた姿が昨日のこのように思えてなりません。

8月14日（火）、ラジオが明日正午重大発表があるからと繰返し放送し、夕方には学校から明日正午校庭に集合すべしとの連絡が伝わって来ました。私は丁度風邪気味で寝ていたのですが、明日の正午何が起こるかをうすうす感じながら、明日は学校へ行こうか、行くまいかと小川校長と配属将校の顔を交互に頭に描きながら寝床の中で明日以後の自分の行動を如何にするべきかを考えたのでした。

## 再建・大学へ昇格か

戦争は終り、学生は皆放心状態でしたが学校の方は8月25日（土）より学期試験が始まりました。2年生は25日が細菌と病理、27日（月）内科診断学、29日（水）薬理、31日（金）外科総論と言った具合でした。

しかし28日頃から各地に連合軍が上陸を始めましたし、本当のところどうも試験を受けられるような状態ではなかったようです。10日程休暇があった後9月10日（月）より2学期が始まりました。9月11日だったと思うのですが朝登校してみますと掲示板に“学生に自由を認めよ！”と言う主旨の檄文が貼られてあります。学校当局も今迄一度もそう言った事件がなかったため驚いたり、迷ったりした様子でしたが、学生の方も始めは誰が書いたのかさっぱり見当がつかなかったのです。そのうち坂上明君が自分が書いたのだと名のり出たため、彼がその後学生代表として当時学生部長をやっておられた真川伊佐雄氏とはげしく交渉をはじめることになりました。

15日には坂上君が議長になり本学最初の学生大会が開かれました。しかし当日の議題は思想問題などと言うものでなく“我々学生をもっと大人としてあつかえ”と言ったようなまことに素朴な要求でした。例えば煙草は自由に喫ってよろしいとか、髪を長くしてもよろしいとか言うような現在の学生諸君が驚くような議題ばかりだったのです。

世相は9月18日に大きな台風が日本各地を襲い、米作は大被害、大飢饉間違いなしと言った暗い話ばかりだったのです。9月24日には学校当局より明日から神戸地区に米軍が進駐して来るから明日と明後日は休講と言うおふれが出ました。三宮から元町に至る国鉄ガード下にブラックマーケットが出来たのもその頃でした。店舗があるわけではなく、うす穢い三国人が“甘いマンジュウ1こ5円やすいよ、やすいよ”などと言って籠を片手に立売をはじめたのです。メリケン粉のマンジュウ1こ5円は当時、私が中古とは言えま新しい自転車を買ったら60円でしたから随分高かったことがよくわかりになると思います。それでもその非衛生的な闇マンジュウが餓鬼の様な人々には飛ぶように売れたのでした。当時は学校の帰りに通りがかりに散髪屋へとび込んだら石鯰をもって来なかったからと言ってひげを剃ってくれなかったと日記に書いています。ずいぶん今から考えるとむちゃくちゃな世の中だったわけで、学校の行き帰りにその闇マンジュウを売っている三宮ガード下でルンペンが死体になっているのをその年の秋から冬にかけてし

ばしば見かけたものでした。

10月3日(水)には法医学の講義が始まりました。ところが10月半ばを過ぎた頃から戦時中に出来た医専は廃校になるかも知れぬとの噂が噂をよび始めました。そして母校を大学にせねばとの声が各方面からぼつぼつと出かけて来ました。

学校の存否が云々されている間にも11月15日(木)には軍関係の学校よりの転入学生29名が1年生に編入され、その入学式が行われました。学校の講義はどうやら順調に進んでいましたが、年末になると石炭事情が極度に悪くなり、列車は5割減となくなってしまいました。正月になっても帰郷出来なくなる。そこで12月3日(月)に学生大会が再度開かれ学期試験の延期と休暇は12月10日からとの要望?が出されたわけです。学生の要求は不思議なことに全面的に入れられ、12月6日(木)には教務より、10日より1日早く9日より休暇にするとの発表がなされました。

年が改まって昭和21年1月中旬、父が当時兵庫県医師会の副会長をしていた関係でしょうか、神戸もどうやら大学に昇格するらしい。そして小川校長は勇退されるかも知れぬとの話を私に伝えてくれました。そして1月30日(日)の新聞紙上にも兵庫医専が大学に昇格、予科は篠山の旧兵舎を利用との記事が載ったのです。

### 母校大学に昇格、われわれは予科へ

母校が大学になるらしいことは新聞紙上にも報ぜられましたが、我々学生はどうなるのかということが問題になって来ました。私達同級生のうちにも、大学へ進みたい人と、このまま医専にとどまって早く卒業したい人とがありました。大学へ進みたい人達は寄ると如何にして大学予科に入るかということが話題の中心となって来ました。阪大(医学部)が大学に昇格したときはどうだったの、京都府立医大が医専から医大になったときは在學生はこうだったのと過去の歴史をひもどいたりしました。そして何れにせよ、過去の例から見て予科の適当な学年へ横すべり出来る可能性があるとの淡い希望的な結論に達しました。

1月23日、これまでただ噂話に終始していた我々の予科編入の希望を一つの運動として大学昇

格運動と共に皆で大いに各方面に働きかけようじゃないかということに発展しました。そんなことに気をとられているうちに亦々学校の方は試験が始まり、2月4日(月)内科と法医、5日(火)薬理と衛生、6日(水)外科と病理、7日(木)耳鼻科、そして2月12日(火)よりは3学期といった具合でしたが熱の入るわけがありません。

2月15日(金)の神戸新聞に次のような記事が載りました。

4月開校目ざして県立医専の大学昇格準備へ

——県立医学専門学校の医科大学への昇格問題につき兵庫県では文部省との折衝の結果内容次第で認可してもよいとの内意を得たので、近く創設費300万円を臨時県会または参事会に提案、4月1日開校を目指して準備を急ぐことになった。医大創設に当っては附属病院の拡充、研究室の整備教授組織の充実を行い、大学は現在の医専校舎、予科は多紀郡篠山町の元兵舎を充当する。修了年限は予科3年、大学4年で現在の医専生徒はそのまま医大へ編入させる。なお創設費300万円のうち50万円は医専創設に際しての寄附金の残りを充て250万円は一般の寄附を仰ぐ——云々。

そして2月16日(土)の朝日新聞には文部省内諾の記事が載りました。今こそ大学予科編入希望をはっきり意志表示すべし。大学進学希望者はこう考えました。そして2月18日(月)、伊藤(信)、中川、山田(裕)、分玉、西口、国府の諸君、それに私などが発起人になってクラスメートに運動の主旨を伝えました。翌2月19日(火)にはこの問題についてはじめは個人的に意見を討わしていたのがいつの間にか学生大会となってしまう、意見百出、結論が出ぬまま流会の形になってしまいました。しかし運動の主旨が皆によく伝わったとみえて、クラスのうちで予科へ進みたいものだけが翌日のひる休みに誰言うもなく集り、代表のものが学内の実力者に会って我々の希望をよく伝えようという段取りになりました。

(以下、次号へつづく)

## 2017年度医学英語研修ハイワークショップ 報告書

神戸大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター  
小児科講師 藤岡 一路 (平成16年卒)

今回、神戸大学医学部5年生の引率教員として医学英語研修ハイワークショップに参加する機会を得たので報告させていただきます。

本研修は、平成29年8月14日から8月19日までの期間で行われ、Hawaii Tokai International Collegeを拠点として、John A. Burns School of Medicine (UH Medical School)、St. Luke's Clinic、Kuakini Hospitalの各施設において、医学英語および臨床技能に関する実習を行うものです。

内容は、午前は現地の英語教員（英語教育の専門家のDr. Little、医学教育の専門家のDr. Shon）によるMedical Englishの講義2コマと、随行日本人教員（私と東海大学からの教員2名）によるMedical Ethicsの講義1コマの合計3時間の講習を行い、午後は毎日異なった病院を訪問して病院見学および実習を行います。そして、本ワークショップのハイライトとして、夕食後にハワイ大学医学部（John A. Burns School of Medicine : JABSOM）において、ハワイ大の医学生を模擬患者とした医療面接および症例提示実習が行われます（添付スケジュール参照）。

本ワークショップは神戸大学主導で開始されたと伺いましたが、現在は事務局が東海大学に移っており、東海大学からは2名の教員と2名の職員が派遣されており、大変よくいただきました。また、参加学生の内訳は、東海大学6名、神戸大学2名、その他日米医学医療交流財団から選抜された全国の医学生17名となっております。

以下、各研修内容につき概説させていただきます。

### 【Hawaii Tokai International Collegeでの講義】

午前の講義は、3つの異なる教室で同時に開講され、1時間毎に1グループ8～9人の学生が各部屋に移動してきて、各部屋で参加型の講義を受けるといったものでした。私達日本からの随行教員は、医療倫理に関する10分程度の英語ビデオを学生と一緒に視聴し、その内容につき英語で議論するという



Medical Ethicsの講義を担当しました。ただ、「寝たきり老人の安楽死希望への対応」、「先天奇形が予測される妊婦の堕胎希望」、「児童虐待を繰り返しているシングルマザーの子宮外妊娠時の卵管結紮の是非」など日本語で議論しても難しいような内容について英語でまず解説し、学生達の議論を誘導するというかなりレベルの高いタスクを要求され、オブザーバー気分に参加していた身としてはびっくりしました。自分がビデオ中の英会話の聞き取りを失敗すると、議論自体をミスリードしてしまうため、かなり真剣にリスニングに取り組みましたが、理解が不十分なところもあり結構反省しました。東海大学の引率の先生の1人が高校までNYにおられたという本物の帰国子女だったので、その先生に完全に御世話になりっぱなしという状態でした。

最終日には、学生達がグループ毎に話しあった倫理的内容につき英語で発表する機会がありましたが、深い考察がしっかりなされており、全員が堂々と発表しており感心しました。

### 【病院見学およびシミュレーション実習】

午後は主に病院訪問の時間になっており、大学附属病院、クリニック、市中病院と異なる特色を有する3施設を訪問させていただきました。ハワイ大学医学部は比較的小規模の医学部とのことでしたが、医学教育にはとても力をいれている印象を受けました。実際に、模型を使った蘇生講習や、腹腔鏡や気管支鏡などのシミュレーターを使ったトレーニングを受けさせていただき、学生達は好奇心旺盛に取り組んでおりました。また、ハワイ大学にシミュレーション教育の研究のためにポスドクとして来られた日本の大学の先生もスタッフとして参加されており、研究分野としても大変新鮮に感じました。

2日目に訪問させていただいた St. Luke's Clinic は神緑会員の小林恵一先生（S63年卒）が Director をされているクリニックで、アラモアナショッピングセンターの徒歩圏内にあり、とても洗練されたおしゃれなクリニックでした。Kobayashi 先生はハワイ大学医学部の学生教育を一手に担っておられることに加えて、神戸大医学部5、6年生の病院実習も多数お引き受けいただいているということで、学生教育に大変造詣が深く、またアメリカ医師国家試験対策（高得点で合格するための）の学習ソフトの開発や、日本人医師がアメリカでレジデンスプログラムに入るための秘訣などたくさんの興味深いお話を伺いました。多くの神戸大の医学生、若手医師が Kobayashi 先生のお話を伺い、世界に羽ばた

く可能性を広げられるといいなと強く思いました。

3日目に訪問させていただいた Kuakini Hospital は元々日本人移民のための病院として建設されたそうで、多くの日系人の患者さんが入院しておられとても親近感が湧きました。また、日本語を話せる患者さんが多いことにも驚きました。

### 【ハワイ大学医学部生との医療面接および症例提示実習】

夕食後にハワイ大学医学部に戻り、連日医療面接および症例提示実習を行いました。本実習は、まず現地のレジデンスプログラムを卒業した日本人医師から医療面接の仕方に関するショートレクチャーを受け、次いで現地の学生を模擬患者として病歴聴取を行い、その内容を実際に現地で診療されている上級医（ボランティアのハワイ大学医師、現地開業医など、人手不足の時は我々随行教員も参加）に対して症例提示し、フィードバックを受けるという内容でした。模擬患者をしてくれるハワイ大学の医学生もかなり本格的に仕込まれており、こういった疾患を抱えた患者役をやるのか、こういった点が医療上のポイントかといった内容を、実際に医学教育担当教官からレクチャーを受け、各々異なる患者像を作り上げます（1日の実習で異なる5-6疾患が採用されるので、シミュレーション教育にありがちなストーリーの既視感がありません）。私が学生のころの医療面接の教育といえば、「Open ended question で患者の話を聞く」とか「体を患者様の方向に向けて傾聴の姿勢をアピールする」とか概念的な内容が多かったように感じるのですが（今はどうかわかりませんが……）、こちらで実際にレジデントをされた先生のお話を伺うと、それらのことは当然必要である上に、短時間





に必要な情報を余すことなく聴きだすことが、医療面接の試験において求められるということでした。そのため、学生達は非常に系統だった実践的な英語の病歴聴取方法を教えてもらい、異なる患者役からの聞き取りと指導医へのプレゼンを何往復もすることで、日に日に医療面接および症例提示が上達していくのを感じました。自分も受講側で参加したいと本気で思うくらいいい内容だったように思います。

### 【全体の感想】

今回の研修を振り返って強く感じたのは、本ワークショップは神戸大学の学生から過小評価されているのではないかとことです。私は、旧知であった前総合臨床教育センターの在間梓先生（H13年卒）にお声がけいただき、特に予備知識もないままに本ワークショップに参加することになりましたが、Medical English Workshopという名称を聞いた時点では、ほんやりと「わざわざアメリカに英語の勉強に行くのか……？」と若干シニカルに捉えておりました。というのはどうせ英語を勉強しにいくだけなのであれば、同行の日本人学生や日本人教員の存在は英語に対するintensityを下げる要因にしかならず、むしろ単身で語学留学する覚悟のない人達が行くのではないかと思ったからです。ただ、実際に参加してみると、参加学生達は非常に基礎英語能力が高く、英語コミュニケーションに関して何ら問題がないレベルであり、多くの学生が長期間海外で臨床実習をする予定だということで、本気で海外でレジデンシーに入ることを想定している学生もいました。

そんな彼らもいわゆる医学的な症例提示や論理的な議論といった点においてはまだ未熟な部分があり、本ワークショップはそれらの医師・医学生に

とって臨床現場で必須となる能力を、英語を用いて教えていくというかなりintensiveなプログラムであるということがわかりました。また、東海大学の随行スタッフから聞いた話では東海大学では海外臨床実習に参加する学生に対して、本ワークショップを必須のプレ研修として位置づけているとのことでした。確かに、臨床面に関する医学教育に関してはハワイ大学に明らかに一日の長があるように思われ、このように臨床に即した英語のトレーニングは日本で短期的に確立するのは困難ではないかと思われました。私自身、学生時代に英国の病院で臨床実習を行いました。日本の病院実習の感覚でとりあえず上の先生について色々見学させてもらうのかなという感じで行ったところ、いきなり口頭試問のような対応を受け全くついていけなかった経験があり、海外の病院では単に英語が理解できる以上のことが求められるのだということを感じた経験があります。さらに、Dr. Kobayashiによるとアメリカなどで実際に卒後レジデンシープログラムに入ろうと思うと、いわゆるエクスターンシップ（病院実習）の時点でのプレゼン能力などの評価が採用の判断に大きく関わってくるということでしたので、本気で世界に羽ばたくことを考えている学生ほど、本ワークショップで練習を重ねてから本番に臨むべきだろうと思いました。

参加学生に関しては、神戸大からは最近希望者が応募枠に満たない状況とのことで、何のセレクションもない状態で若干の旅費の補助のもと参加できるという大変ラッキーな状態です。一方、東海大学からは海外実習が確定している学生達、および日米医学医療交流財団からは全国から選抜された学生達が参加していることから、優秀な他大学の学生達と交流できるメリットがあります。また、現地では小林先生に加えて、神戸大の大先輩である小川



## 京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)便り

基金事務局 徳 永 愛 子  
上廣倫理研究部門 特定研究員 中 川 千 種

神緑会の皆様、平素はiPS細胞研究所(CiRA)に継続的なご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
CiRAでは10月2日(月)にシンポジウム「社会とともに考えるiPS細胞研究と生命倫理」、10月14日(土)に「寄付者感謝の集い(大阪)」を開催しました。今号では、両イベントの様子を紹介いたします。

### 研究の進展とともに重要な生命倫理のシンポジウムを開催

CiRA 上廣倫理研究部門は、公益財団法人上廣倫理財団と共催で、10月2日(月)に上廣倫理財団設立30周年記念出版「科学知と人文知の接点」シンポジウム「社会とともに考えるiPS細胞研究と生命倫理」を開催しました。このシンポジウムは、『科学知と人文知の接点—iPS細胞研究の倫理的課題を考える』(京都大学iPS細胞研究所 山中伸弥監修・上廣倫理研究部門編、弘文堂)の出版を記念して開催されたものです。

当日は、同書に寄稿していただいた科学者、人文社会学系の研究者、行政官、そして当部門員が、一般の方々とiPS細胞研究の倫理的課題について考える機会となりました。山中伸弥所長・教授等による講演の後、パネルディスカッションが行われ、各登

壇者のプレゼンテーションを踏まえて、「iPS細胞の可能性と意義、倫理的課題」「科学知と人文知の接点についての重要性と現状の課題」「専門家の役割と責任」について意見が交わされました。当日は、あいにくの雨でしたが約400人の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方からは、「iPS細胞の論文発表から現在までの経過、CiRAでの取り組みが理解できてよかった」「(今回のシンポジウムに参加して)生命倫理の基礎について学びたいと思った」「今までは、iPS細胞の科学的可能性についてのみに興味を持っていたが、今回の講演での『倫理』面の指摘は有意義であった」という感想をいただきました。



シンポジウム関係者による記念撮影

## 京都大学 iPS 細胞研究基金 講演会 山中伸弥教授に聞く、ヒト iPS 細胞研究の10年

10月14日（土）にiPS細胞研究所にご寄付をくださった方々や、一般の方々に参加していただき、「京都大学 iPS 細胞研究基金講演会」と題して、大阪での感謝の集いを関西テレビ放送との共催で開催いたしました。

第1部は、山中伸弥所長・教授が最新の研究成果について、櫻井英俊准教授（臨床応用研究部門）がiPS細胞を活用した筋ジストロフィーの治療研究について講演しました。第2部では、関西テレビ放送

村西利恵アナウンサーとのトークセッションが行われ、「山中所長への10の質問」と題して、村西アナウンサーから山中所長へ様々な質問が飛びました。その中の1つとして、「iPS細胞研究とその発展を山登りに例えると、今、何合目ですか」という村西アナウンサーの質問に対して、山中所長は、「まだ5合目地点です。ここから頂上までは、突風が吹いたり、悪天候で前が見えなくなることもある



会場の皆様からの質問に答える櫻井准教授

かもしれません。しかし、目指すゴールは同じ。iPS細胞技術の医療応用です」と答えました。今後このような、一般市民や寄付者とのコミュニケーションの場を作ってまいります。

写真提供：関西テレビ放送

## ■ 山中所長が NHK 番組に出演いたします

NHK スペシャル シリーズ「人体 ～神秘の巨大ネットワーク」に山中所長がタモリさんとともに司会として出演しております。よろしければご覧ください。

第3集 「“骨” が出す！最高の若返り物質」	2018年1月7日（日） 21時15分～
第4集 「アレルギーの鍵は“腸” にあり」	2018年1月14日（日） 21時～
第5集 「徹底解剖！ひらめく“脳”の秘密」	2018年2月4日（日） 21時～
第6集 「生命誕生・あなたを生んだミクロの会話」	2018年3月18日（日） 21時～
第7集 「人体は謎に満ちている」	2018年3月25日（日） 21時～

※タイトルや放送内容、放送日時は変更になる場合がございます。最新の情報は番組ウェブサイトをご確認ください。

## 【iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先】

iPS 細胞研究所 iPS 細胞研究基金事務局  
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53  
TEL：075-366-7152 FAX：075-366-7185  
メール：ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp  
資料請求専用フリーダイヤル：

**0120-80-8748**（平日 8時半～17時）

京都大学基金ウェブサイト  
「京都大学基金」で検索してください。  
URL は以下の通りです。  
<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

## 神戸大学の現状報告

的崎 尚 研究科長・医学部長  
 藤澤 正人 附属病院長（永井臨床研究推進センター長）による講演会の開催

一般社団法人神緑会 会長 前田 盛

各支部会員には日ごろ、大変お世話になり有難うございます。今回活動の開催に至る考えを説明します。

平成29年1月21日に開催した神緑会総会で、医学部長と附属病院長をお招きし、神戸大学の現状についてご講演いただきました。その印象として、全国の大学、なかんずく神戸大学の劣勢のイメージが強かったのですが、「神戸大学、よくがんばっている」と感じました。これは、是非とも多くの神緑会会員にお聴きいただきたいと思いました。兩名にご相談したところ、「ぜひ参加したい」との了解が得られました。大学が何を考え、どのように運営されているかは、やはり直接聞かないと分からないと思います。ただ、大阪神緑会の講演会では、運悪く藤澤病院長の日程が取れないことが解りました。それで、協議の結果、永井センター長にお願いすることになりました。それでも、内容の半分は、藤澤病院長がお話いただくはずの内容（パワーポイント等もお借りする）とし、のこりは、附属病院が平成30年に目指す臨床研究中核病院への取り組みについてご説明いただく予定です。

この企画の第二点は、神緑会が平成23年度から一般社団法人に移行し、本部一支部の関係が変わったことをお知らせしたい点があります。公益社団法人

人では、複数会計、すなわち本部と支部の会計があると文部科学省、内閣府（一般社団法人の主務官庁が変わりました）への届に際し、混乱が生じるなどの理由で定款にも支部の存在をふせた内容となっていました。支部無しでは運営は出来ませんから、かろうじて評議員会を明文化していました。平成23年度からは、支部名も明記した一覧表を付記し、相互支援が可能となりました。ただ、残念ながら、基本財産の費消期間中は、実際に公益社団法人の時と同様に内閣府の報告書も作成し、結果として公益支出か非公益支出かを分けるなど、会員に不親切な運営を続けてきました。幸いにも、平成28年度で基本財産の費消が終了し、今後は会計的には解りやすい運営となります。本部の力不足で支部活動の支援にはいたっていませんが、山陰支部、関東支部の整備に尽力中です。

以上の観点から兩名のご講演を、大阪神緑会（10月21日）と加古川支部が開催しましたが、長田、須磨、垂水、西、明石、高砂、姫路、北播各支部の協力で開催し、直接、ご講演を聴いて頂いて、大学ランキングが全てのようにになっている現状を確認する中での神戸大学の健闘振りを肌で感じていただきたいと思います。2回とも非常に好評でした。

### 的崎 尚医学教授 演題：「神戸大学大学院医学研究科の現況と展望2017」

平成29年10月21日(土) 大阪神緑会支部 会場 ホテルグランピア大阪 参加者：約45名



#### <平成28-29年度の研究科動向と取り組み>

- 研究
  1. 「シグナル伝達医学研究」の推進(H28度概算)→神戸大学フラッグシップ国際研究拠点
  2. 東南アジア諸国における感染症に関する研究(J-GRID)の推進(第3期)
  3. 文理融合による神経関係の研究プロジェクト「こころの生涯健康学」が発足
  4. 臨床研究推進センターを核とした活動、臨床研究中核病院の承認獲得を目指す
  5. 国際がん医療・研究センターの設置、医工連携の推進(H28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」に採択)
- 教育
  1. 学部:平成30年度「国際基準に対応した医学教育分野別評価」の受審
  2. 学部:基礎医学研究医育成システム整備、地域枠学生の支援
  3. 大学院:29年度より定員増の承認(78名から100名へ)
  4. 「卓越大学院」の申請(徳島大学などとの連携)
- 国際交流
  1. 北米地域(米国ワシントン大学)との共同研究体制の強化、ヨーロッパ地域も視野に
  2. 東南アジアとの学生交流、共同研究の継続
  3. 部局内の国際交流活動を俯瞰する「次世代国際交流センター」を設置
- 学内/学外連携
  1. 国からの運営費交付金減による人員削減などへの対応(附属病院、保健学との連携強化)
  2. 文理融合研究の推進などによる学内他部署との連携(先端融合研究環への参加)
  3. 兵庫県、神戸市、医療産業都市(先端医療振興財団、理化学研究所など)との連携強化



神鋼ケアライフは、神戸に根ざして3つの介護付有料老人ホームを運営。  
積み重ねてきた実績を活かして、安心・安全・快適な暮らしをサポートしています。



介護付有料老人ホーム

## ドマーニ神戸

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)



気候が温暖な、神戸市垂水区に立地。  
閑静でありながら便利な、  
住むのにちょうどいい環境です。

**0120(78)6665**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】  
●施設の類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式  
●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。

【施設概要】●所在地 / 神戸市垂水区本多間3丁目1番37号 ●交通 / JR「舞子」駅よりバス15分「舞子高校前」下車、徒歩4分(約320m)市営地下鉄「学園都市」駅からバス8分「舞子高校前」下車、徒歩2分(約130m) ●構造規模 / 鉄骨(一部)鉄筋コンクリート造 地上7階・地下1階の1棟、鉄筋コンクリート造 地上10階の1棟 ●居室数 / 一般居室195戸、介護居室58室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



平成20年4月撮影



介護付有料老人ホーム

## エレガーン摩耶

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)



街全体がバリアフリーの神戸市灘区「HAT神戸」に立地。  
隣接するクラブハウスで、他世代との交流も楽しめます。

**0120(01)4165**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示】●類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払い方式 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。

【施設概要】●所在地 / 神戸市灘区摩耶海岸通1-3-10 ●交通 / JR「灘」駅より徒歩13分(約1km)、阪神「岩屋」駅より徒歩10分(約800m) ●構造・規模 / 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上14階建(ケアセンター東館5階) ●総居室数 / 一般居室134戸・介護居室96室 ●土地建物の権利形態 / 土地・建物とも自社所有



平成23年5月撮影



介護付有料老人ホーム

## エレガーン甲南

(一般型特定施設入居者生活介護 / 入居時自立・要支援・要介護)

六甲の山並みに抱かれた住みよい町、神戸市東灘区に立地。  
自立された方も、介護が必要な方も、  
生活の状態に合わせてきめ細かく対応します。

**0120(65)8208**

【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型 / 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態 / 利用権方式 ●利用料の支払方法 / 一部前払い・一部月払い方式(一般居室)・選択方式(介護居室) ●入居時の要件 / 入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険 / 兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分 / 全室個室 ●介護にかかわる職員体制 / 1.5:1以上。  
【施設概要】●所在地 / 神戸市東灘区本山南町3-3-1 ●交通 / 阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分(約1,180m)、JR神戸線「摂津本山」駅より徒歩12分(約930m)、阪神本線「青木」駅より徒歩9分(約700m) ●構造・規模 / 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上14階建(ケアセンター地上6階) ●総居室数 / 一般居室105戸・介護居室101室 ●土地建物の権利形態 / 土地は普通借地(平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株))、建物は自社所有



平成18年4月撮影



■お問い合わせ・資料請求等は、各フリーコールをご利用ください。

【経営・運営主体】(公社)全国有料老人ホーム協会会員・(一社)全国介護付きホーム協会会員

**神鋼ケアライフ株式会社**

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号(国際健康開発センター3階)  
TEL.(078)261-6665

【ホームページ】<http://www.s-carelife.co.jp>

# 六甲邸宅

正統を継ぐ住まいへ。

## 阪急神戸線「六甲」駅北側徒歩5分



神戸、六甲山手。山麓に広がる豊かな自然を舞台に、西欧のモダニズムを取り入れ育った住文化。約80年に渡る従前の景を受け継ぐ、THE AUTHENTIC「プラウド六甲篠原北町」。現代建築に昇華したレジデンスに刻まれる。41邸の芳しい舞台へ。

東側外観完成予想図

## プラウド六甲篠原北町 モデルルーム案内会開催[予約制]

第一種低層住居専用地域 ※1

専有面積 78.20㎡~110.75㎡の全41邸

オーダーメイドシステム採用 ※2  
(有償一部住戸)



■「プラウド六甲篠原北町」予告物件概要◎販売予定時期/2017年12月中旬◎所在地/兵庫県神戸市灘区篠原北町1丁目2番(地番)◎交通/阪急神戸線「六甲」駅徒歩5分、JR神戸線「六甲道」駅徒歩15分◎敷地面積/2,192.74㎡(建築確認対象面積)◎用途地域/第一種低層住居専用地域・第一種住居地域◎建築確認番号/第NK17-0159A号(2017年9月21日付)◎構造・規模/鉄筋コンクリート造4階(建築基準法上は地上3階地下1階建)◎総戸数/41戸◎販売戸数/未定◎間取り/2LDK+S~4LDK◎専有面積/78.20㎡~110.75㎡◎バルコニー面積/4.73㎡~9.20㎡◎完成予定時期/2018年11月中旬◎引渡予定時期/2018年12月中旬◎販売価格(税込)/未定◎管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成していただき、運営・管理業務は野村不動産パートナーズ(株)に委託予定◎分譲後の敷地の権利形態/専有面積割合による所有権の共有◎管理費等(税込)/未定◎事業主(売主)/野村不動産(株)関西支社(国土交通大臣免許(13)第1370号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟)〒550-0011大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)TEL:0120-06-6552◎施工/野村建設工業株式会社◎原稿作成日/2017年11月10日◎本物件は一括して販売するか、分割して販売するか未定です。販売戸数等の未確定部分につきましては本広告時で表示いたします。

### 予告広告

本広告を行い取引を開始するまでは、契約または予約の申込みは一切応じられません。また申込みの順位の確保に関する措置は講じられません。予めご了承ください。

※掲載の完成予想図は、計画段階の図面を基に描いたもので実際のものとは異なります。また、今後変更になる場合があります。尚、外観の細部・各種設備機器・配管類等は一部省略又は簡略化しております。植栽は特定の季節の状況を表現したものではありません。竣工時には完成予想図程度には成長しております。タイルや各種部材につきましては、実物と質感・色等の見方が異なる場合があります。敷地周辺の電柱・標識・架線・ガードレール等は再現していません。※毎日正午・午後6時には「カトリック六甲教会」の「鐘楼の鐘」が美しい音色を響かせます。※掲載の地図は略地図につき、省略されている施設・道路などがあります。※徒歩分数表示については地図上の概算距離を、80mを1分として算出(端数切り上げ)したものです。※掲載の環境写真は平成20年7月撮影されたものです。

[売主]



お問合せは「プラウド六甲篠原北町」マンションサロン

# 0120-408-041

営業時間/平日 10:00~17:30 土・日・祝 10:00~18:00  
定休日/水・木曜日(祝日除く)

ご来場予約・お問い合わせはこちらから

プラウド六甲篠原北町

検索